

# 自由回答のまとめ

結婚支援や少子化対策、子育て支援で考えることや意見、行政への要望を自由に書いてもらったところ、115人（19.9%）の方が記述してくださった。

以下は、全ての記述内容を「経済的負担」、「相談」、「就労」、「結婚支援」、「交流」、「社会環境」、「学校・教育」、「医療」、「育児・子育て」、「施設」、「行政」、「調査票」、「その他」の13項目に分類し、まとめたものである。



回答内容	件数	項目
賃金が安く、結婚や出産をする余裕が無い。賃金アップ、支援を望む。	14	経済的負担
医療費、学費の無料化または最低限支援を検討してほしい。	3	経済的負担
結婚、子育てをする経済的な余裕がない。仕事も忙しすぎて出会いがない。	3	経済的負担
学費の無償化が貧困再生産の防止になると考える。	2	経済的負担
不妊治療についての情報、資金面での援助がもっとあるといいと思う。	2	経済的負担
保育園・幼稚園にかかる費用が多。	2	経済的負担
子どもから大人までの医療費免除。	1	経済的負担
18歳未満の児童の医療費は一割負担とし、残りは保険組合が負担する。	1	経済的負担
若い世代で結婚に消極的な人からは「結婚はコストパフォーマンスが悪い」と言った声がある。様々な局面でお金がかかる割に自分が得られるものが少ないと思う気持ちから来るものなのだろう。	1	経済的負担
子供を安心して作れるように収入に関係なく子供を増やせる状況にしてほしい。今一番の対策は医療費が一番多く国で経費がかかっているの、健康対策みたいな事を作ってほしい。肥満を減らすためにするとか、体に悪い物は税を値上げしていくとか。	1	経済的負担
お金がなく、仕事もしたいのに子どもがいるため制限されている人が多いと思う。	1	経済的負担
働いても働いてもとられるお金が多くて、子どもを育てる・産む、または結婚する資金・経済力は今の若者にはなく、現実味がない。	1	経済的負担
自分の楽しみまで削って支払った税金を老後にはものすごく少ない。生活保護は国の提供する労働に従事することの引換で保証すべきである。	1	経済的負担
税金を取るのはいかまわぬが、子どもをもつ家庭(母子父子家庭含む)への支援をもっと手厚くしてほしい。今の時代の運用ではとても子どもなんて育てられない。	1	経済的負担
子どもを産んだ時の返って来るお金を一律にしてほしい。	1	経済的負担
現在42万円の出産一時金を百万円に引き上げる。	1	経済的負担
青森県同士で結婚をした場合、お祝い金を出す。結婚式代を一部負担する。	1	経済的負担
18歳未満の児童1人に対し、月額3万円を支給する。	1	経済的負担
住居の補助ができれば良い。	1	経済的負担
以前広報で、新婚さんに対する住宅支援か何かの援助のことが載っていたが、対象の年齢が20代から30代前半だった。私のように30代後半や40代以上の人が結婚・出産した時の支援もあればいいと思う。	1	経済的負担
結婚祝金、出産祝金(複数は支給率増)、住宅購入祝金、入学祝金等、節目でお金がもらえれば良いと思う。	1	経済的負担
独身男性の低所得者対象に援助してほしい。	1	経済的負担
結婚し子供が生まれた場合、一軒家を購入する事を考えると、土地代が高いうえに、賃金が安い為、生活が厳しい。地方と言うこともあるが、給料の上昇及び、土地代の低下を望む。	1	経済的負担
現在子どもが4人いて、子ども手当や、就学援助など、様々な支援があるが、子どもが中・高と進学するたびに費用もかかり、老後の事など金銭面で一人二人など子どもがいない家庭も多いと思う。	1	経済的負担
子育てに関しての相談を24時間やっているところがあれば良いと思う。	2	相談
電話やメールではなくSNSのやりとりだと、若い人が相談しやすいのでは。	1	相談
結婚願望はありますが、年齢(35才すぎ)と持病があるので心配・不安。そんな不安をどこに相談したらいいか。	1	相談
育児休暇を当たり前にとれるような環境・仕組み作りが必要。	3	就労
勤務時間、残業時間、有給休暇をもっと規制してほしい。	2	就労
育休は女性だけのための制度ではない。男性も積極的に取り、取ったことで営業成績が落ちたとかで評価減になったりせず、会社や社会全体で支え合っている世の中にならないと、現代の日本は子育てがとても難しい国のままになってしまう。	1	就労

回答内容	件数	項目
現在同僚が育休中で、その人の分の業務を全部代わりにやっているのですごく忙しくて、とても疲れている。忙しすぎて出会いもなかなかなく、また、自分がかもし結婚して育休になった時、周りの人にこんなに負担をかけてしまうのかと思うと不安になる。産・育休中の人をフォローしている人にも手当など何か支援があれば良いと思う。	1	就労
急に具合が悪くなるのが子供なので、夫婦と子の世帯(共働き)ではそのような時に仕事を急に休むなどの対応が必要となる。急に同僚が休んだ時に周りのスタッフは仕事のカバーをしてきた。急な休暇をとることができるのは職場の理解があるということなのかもしれないが、周囲でカバーしてきた側からすると、そこまでして(急に仕事を休むなど、周囲のサポートがない状況で)子育てしなければいけないのかと思う。	1	就労
子育てしやすい職場環境の醸成(企業への助成、補助)。	1	就労
結婚支援を考える上で不可欠なことは、雇用ではないだろうか。青森県は雇用環境がだいぶ改善されてきてはいるものの、業種や職種がだいぶ偏っているように思われるので、さらなる雇用環境の充実が必要である。	1	就労
産休期間を延長し、合計20週間の産休がとれるようにする。産休期間中に働いた場合も、出産手当金を保険組合が支給する。	1	就労
婚活しようと思っても、職場で責任ある仕事を任されれば(不規則勤務、時間外労働、休日出勤、呼び出し)、婚活する時間なんてない。自分の生活を維持するので精一杯だ。	1	就労
仕事がないので、養う事がむずかしい。	1	就労
施設管理の仕事をしているが、賃金を増やしてほしい。	1	就労
地方と都心、そして保育園・こども園・幼稚園と小学校を比べると給料が違いすぎる。様々な給与の手当の制度があっても低い。子どもを預かっていることには変わらないのに。	1	就労
働き方改革をしてほしい。	1	就労
保育士は休みたいときに休めないのが大変。有休・年休といったものをほとんど使用せずに1年が終わることがほとんど。休みが取りづらい環境の改善があると、これから入る若い方も仕事をしたいと思うのではないだろうか。	1	就労
保育士さんや幼稚園の先生の待遇を良くするべき。現状で子供の人口が増えても預かってくれる施設がなければ働きたいお母さん達、働かないと子育てできない経済状況の家庭は上手くいかない。そもそも保育士・幼稚園の先生がいらないことには施設だけあっても無意味なので、待遇を良くすることで離職率の低下、就職率の向上が見込めるのではないかと。	1	就労
スーパー等小売業を土日休みにしてほしい。	1	就労
既婚者は積極的に年休消化し、家庭の手伝いを出来るような制度を強化すべきだと思う。	1	就労
なかなか出会いがないので、気軽に行ける出会いの場を増やしてほしい。	8	結婚支援
県、行政等が行う結婚支援のためのイベント、出会いの場を増やしてほしい。	4	結婚支援
婚活、支援についての情報が少ない。もっともっと発信してほしい。	2	結婚支援
街コン等の開催曜日は土曜日等が多く見受けられますが平日も開催して頂きたい。	2	結婚支援
街コン等の年齢層が広がってきていると感じたので、20代限定、30代限定など、もっと細かい年齢層の区切りにしてほしい。	2	結婚支援
街コンなどでサクラはやめた方がよいと思う	2	結婚支援
街コンなどのイベント全般で男性の料金が高いのは差別だと思う。男女平等ではないのかと考える。	2	結婚支援
キャンペーンなどで結婚をしようとする機運を上げてほしい。こっちが結婚したいと思っても、まだしなくてもいいと感じたり、まだ遊びたいと思っていると、それで結婚できないことが多い。まず、周りの環境として、結婚をしようとする機運を上げてほしい。	1	結婚支援
結婚に対する具体的な明るいイメージが湧かない為、既婚者の方々のお話を聞けるような交流の場があれば良いかなと思います。	1	結婚支援

回答内容	件数	項目
県が主導で、昔のような「近所の世話焼きさん」のような制度を作れないだろうか。各市町村の独自施策での取り組みであれば、市町村によって差が出てしまう。(取り組むところは取り組むし、取り組まないところは取り組まない) 世話焼きさんが未婚の異性同士を紹介してくれるだけで、交際・結婚をしたいと思っている人のうちの、できない理由の1つである「出会いがないため」という理由はなくなるのではないか。	1	結婚支援
結婚支援に対して、若い人が県内に留まる様な県にして欲しい。きちんとした職に就く事が出来る様になれば、結婚を考える人も増えると思います。子どもを2人以上持つ人も増えるのでは？	1	結婚支援
高齢者が増えて少子化。高齢者を支えるのは私達です。少子化の世なので、私達が高齢者になった事を考えると支える人がいなくなる。その為にも、青森県の県単位で婚活は取り組むべきで、青森県での結婚相談所の行きやすい環境、分かりやすく安心であることを広めるようなこともしてほしい。結婚相談所の事、全く分からないので。	1	結婚支援
街コンに送迎サービスが欲しい。	1	結婚支援
青森県内でも各自自治体が婚活イベントを開催しているが、多くのイベントの対象者が「地域に住む独身男性と独身女性（地域を問わない）」で、地域の男性を支援するものばかりで、地域の女性への婚活支援はあまりないように感じる。私はアプリ等を使って男性と知り合っていますが、青森に住みたいと言う東京や仙台の方も多いため、青森の女性と結婚したい男性を集めても盛り上がるような気がする。	1	結婚支援
私の住んでいる所は限界集落に近い町の外れにあります。街コンやお見合いパーティーの開催地へ行くこともできますが、パーティーの会費が男女で差があり、宿泊や代行代金を考えると、収入の低い人にとっては知り合えなかった時や、何度も参加となるととても痛いです。甘えに聞こえるかも知れませんが、収入が低くてもいいという女性との出会いやパーティーってあるのでしょうか。	1	結婚支援
以前、「外見を磨く」というテーマの婚活セミナーに参加したところ、帰り際に同セミナー参加男性から、「アンタみたいなキャバ嬢みたいな女は簡単に落とせる」という、婚活に来る人とは思えない発言を聞いた。私はキャバ嬢ではないし、外見を磨くよりまず内面を磨く方がいいと思った。主催した側には何の落ち度もないが、婚活を続ける度に男性に失望を増やしてしまう場面はある。	1	結婚支援
普通に結婚するだけでも大変なのに国際結婚になるともっと大変になるので支援策をお願いしたい。	1	結婚支援
子育て等との関係はほぼないが、施設生活者を対象とした（又はできるような）サービスを広げてほしい。例として、利用者を対象とした子供も参加できるゲーム大会等。	1	交流
家族全員でいけるイベントを増やしたほうがいい。	1	交流
職種、職場でほぼ出会いは決まってくるので、色んな会社が参加できる研修会があればいいと思う。事務職対象の研修であれば様々な業種の事務職が参加する、など。いつも会社単位、母体単位で行われているため。	1	交流
私は現在大学で教育について学び、教員を目指している。子供にとって遊ぶことは人間性を創る大切な基礎となるので、子供たちがもっと外で伸び伸びと遊べるようなイベントを企画して自然と触れ合う機会を増やして欲しい。近年外で遊んでいる子供を見かけることが少なくなったように感じ、少し寂しく感じる。	1	交流
昔に比べて男性も家事、育児に従事する人が増えたとはいえ、現状はまだ、こり固まった昔ながらの考えの人が多いと思う。国会でも女性の社会進出をとうたっているけど、それは女性の負担をもっと増やせということだと思ふ。実際にそういう案件を採決しているのは昔のこり固まった考えを持つ中年の方々。そういう人達が増えたら今の若者の現状を理解し、学ぼうとしないとこれからは変わらない。	1	社会環境

回答内容	件数	項目
少子化には歯止めはきかないし、昔と違って結婚しなくても生きていける（昔は女性は結婚しないと生活できなかった）。自分も結婚というものに夢も抱くことはできないと思う。親もしょっちゅう喧嘩していたし、姑とのいさかい、年齢離れた弟の面倒など、その間、父親は育児には全く従事していなかったのを間近に見ているので現実を知っている。なので、結婚するという事は本当に幸せなのかということを考える。	1	社会環境
親に心配をかけたくはないが、まわりから結婚、結婚とせかされるのはもっと嫌だ。	1	社会環境
シングルマザーでも働きやすい社会にして欲しい。	1	社会環境
LGBTの人が生活しやすい環境作りをして欲しい。LGBTの人が子供を持てるような社会にして欲しい。	1	社会環境
障害者に対してもう少し手厚く、平等にして欲しい。一般人と障害者は差別されすぎではないか。	1	社会環境
結婚支援や子育てサポートの充実が必要なものですし、無くてはならないものだと思いますが、女性の結婚や妊娠・出産に対する社会の制度やイメージの変化、低所得者への救済がない限り、少子化が改善されるとは思えない。	1	社会環境
結婚してモラルの無い子供が増える今が憎い。結婚しているだけで多種雑多な嫌がらせばかり受ける今生が憎い。	1	社会環境
年老いた親の世話で子供を作る余裕のないご家庭もあると思いますし、実際自分も親に老後に世話をしたいと頼まれている身で、家も裕福ではないので両親が倒れたら結婚妊娠どころの話ではない。	1	社会環境
子育てをする家庭が夫婦共働きが当たり前となっている現代で、仕事・子育て・家事を夫婦で分担することも当たり前だ、という考えがもっと広まって欲しい。働く女性の社会活躍が増えるほど、女性の仕事は忙しくなっている。それなのに今でも女性が家事・子育てをする比重が高い家庭がほとんどだと思うし、中には、「いつも女性の帰りが遅い」「自分や子どもを放って仕事ばかりしている」と不平を言う男性もいると思う。	1	社会環境
結婚やその後の家庭生活においては双方に不満を持つ事情があるものです。男性が家事育児を自分なりに懸命にやっても、女性から見て男性に対して「育児や家事はこうして欲しい」と思うこともあると思う。そういったことからお互いがより満足できる家事育児の仕方や心理面でのフォローをしてくれる支援があれば良いと思う。	1	社会環境
そもそも恋愛結婚では少数派でたまたま勝ち残った人たちだけが幸せになれる。正しい性知識、経験の欠如したまま成人化。恋愛市場での成功体験を欠如したまま成人化。情報化によるポルノへのアクセスが容易。このあたりが少子化対策で目を向けなければいけない本質なのではないか。	1	社会環境
周りを見ても、青森は低所得世帯が多く、低所得世帯の子供もまた低所得になっている。負の連鎖を断ち切れるような環境整備をしてほしい。	1	社会環境
卵子が老化することを分かっている人が少ないと思う。性教育でもっと話したり、若い女性にもそれを伝えられる機会があれば良いと思う。	1	学校・教育
小学校のリフォーム。	1	学校・教育
教育にもっとお金をかけるべき。少子化は確実にすすむので、教育の質を上げるべきだと思う。	1	学校・教育
地方にもっと目をむけて欲しい。医療体制がまだまだ整ってない。	1	医療
不妊治療に対して世間や会社の理解があまり得られていない現状なので、治療がしやすい環境を作してほしい。	1	医療
親の仕事終わり後でも受診できる病院又は診療所を増やす。	1	医療
婦人科健診も含めた医療サービスの充実。	1	医療
婦人科系の病気の人への支援や援助を充実させてほしい。	1	医療

回答内容	件数	項目
無痛分娩の病院が増えれば、妊婦や子供に優しい県としていち早く評価されるのではないかな。昔はそんなの無いとか過去の話はどうでもよくて、いま実現できて身体的負担も少ない無痛分娩がもっと主流化および低価格で提供できれば少子化の波も少しは食い止められる気がする。	1	医療
子育て対策・支援が不十分に感じる。	5	育児・子育て
子どもを24時間預けられる場所があれば良いと思う。	2	育児・子育て
病児保育・サポートの充実。	2	育児・子育て
保育士を増やして欲しい。	2	育児・子育て
保育園の待機児童が減ることを願う。	2	育児・子育て
子育て支援について、5歳児相談の取り組みは良いと思うので、一般的な健診と同じように浸透してほしい。発達障害の傾向のある子を育てる家庭と発達障害者支援センターをつなげるような支援をしてほしい。	1	育児・子育て
少子化対策、子育て支援はセットで行う必要があると思われる。ぜひとも、子供を育てやすい環境作りと子供を産めるような環境整備をお願いしたい。	1	育児・子育て
子育てを教えてもらえる、相談できる場所を出産する前から知っておきたい。どの時期にどのくらいお金がかかるのか知りたい。	1	育児・子育て
妊娠・出産の支援はもちろん必要かと思いますが、産後の支援にも力を注いでほしい。	1	育児・子育て
子育てに関しては経済的支援及び支援施設の充実化をしてほしい。	1	育児・子育て
障害者でも安心して自由に気軽に精神的にも不安にならず、家計にも負担にならないような妊娠・出産そして子育てが、出来るようにして頂きたい。	1	育児・子育て
子育て支援に関しては、市町村の支援センター、こども園、市町村での取り組みを、掲示場所を増やすことで情報が入りやすくなると思う。	1	育児・子育て
子育て支援の充実として、地域とのつながりを深めた青森県になるようにし、若い人が働いても誰か（地域）に見てもらえる関係づくりをしていってほしい。	1	育児・子育て
地域での子育て支援（託児とか）があるのか分かりませんが、地域で顔のみえる人付き合いも増え、抱えこまなくてよい環境ができてよいかと思う。	1	育児・子育て
子育て支援では、保育園など働く親に対してのサポートもあるが、保育士自身も子育てをしているので、延長保育などは、仕事が何時～何時まで、延長保育の必要性があるのかなど、しっかり書類を出すようにするなどしてほしい。金銭面で、フルタイムで働かないといけない家庭などは、共働きも多いので、協力してくれる人も周りにいない人は、子どもを中々産めなかつたりするのではないかなと思う。	1	育児・子育て
子育て支援に関して、全ての人に平等であれば良いと思う。母子家庭でもそうではなくても。母子家庭には優遇するけど、両親がそろっている家庭はそうではないということも違うような気がする。	1	育児・子育て
保育の現場において、保育者・保育教諭が足りないからといって資格のない人達を大勢雇おうとするのはやめていただきたい。また、現在0歳児は3人で保育者（教諭）が1人、1・2歳児は6人で1人…となっていますが、現場に入ると人の目が足りません。現在はキャリアアップ等を通して正規の社員を増やそうとしてはいますが、全く追いついていないと思う。	1	育児・子育て
子供が遊べる施設（テーマパーク等）を作る。現状青森県内にはテーマパークと言える場所がない。	1	施設
子供連れで遊びに行ける所を増やして欲しい。	1	施設
駅前を充実させるために次々と高層マンションが立っているが、栄えているように思えない。そういった「こだわり」に税金がムダにつかわれているのは虚しく思う。駅前は駐車場もちょうどいいところがないし、利用しにくい。小さい子をつれてはなかなか行けない。	1	施設

回答内容	件数	項目
結婚してから自由な時間が減ったと考えている人が私のまわりにおいて、「ワークライフバランス」を大事にして「仕事との両立」「趣味の時間の確保」ができるよう、子育て施設を職場（もしくはその近く）に置くところを増やすなどの工夫がさらに必要だと思う。地方銀行や印刷会社等で行われ、それによって賞ももらっているようだが、まだ足りないように感じる。	1	施設
外灯を増やして欲しい。秋頃から夕方を過ぎると真っ暗な為、小中学生等の降園する際危険だと感じる。不審者対策にもなると思う。	1	施設
東郡は、医療面や教育面で非常にきつい。体調が悪かったり、勉強するにも施設がないため、最短で外ヶ浜まで行かないといけない。	1	施設
若者向けの娯楽施設やショッピングモール等の増加および整備、公共交通の整備、マスメディアの充実（CATVの整備や光ファイバーでのテレビ配信で民放5局化）等で若者の定着促進も合わせてお願いしたい。	1	施設
子供が遊ぶ施設が少ないと感じる。親子で遊べるアスレチックなど、親子で楽しめる場所をもっと作るべきだと思う。	1	施設
行政のサービスの充実化をする。少子化対策とし、子供へ掛かる金額の補助金を増やす。市民の負担を減らす。	1	行政
少子化と数にばかりこだわって人の質（性格・教育など）にこだわった政策はないのでしょうか。いじめによって命をおとす子が沢山いるのがつらいです。そんな親の気持ちも子どもの気持ちもフォローするような子育て支援も必要だと思います。1人1人を大切に。	1	行政
代理母出産や特別養子縁組のことにも取り組んで欲しい。	1	行政
結婚支援は行政の力で何とかできる問題でないと考える人も多いかもしれない。	1	行政
青森生まれで青森育ちだからもっと青森がうるおってほしい。そのためには、子どもをどんどん産める県にしてほしい。	1	行政
伝統芸能に力を入れるのは構わないが、もっと働く場を作ってほしい。特に医療や介護面にもっと力を入れてほしい。若い人達をもっと定住できるように。	1	行政
どのような対策や政策をしているのか詳しくわかりませんが、青森県で子どもを産み育てるのは大変そうだ。経済的な面も医療の面でも。	1	行政
自分が子どもを産み育てられなくとも、自分が働いたお金が、子ども達に還元はされてほしい。ただ、中年期、老年期の独身者が肩身の狭い思いをせず暮らせる地域であってほしい。	1	行政
市町村ごとに対策や支援が異なるので一緒にすることはできないのか。医療費も初診料はかかる、住んでいる市町村以外だとかかるなど、不思議に思う。	1	行政
青森県は福祉県というイメージが強いのですが、もっとそこをアピールして、県民全員で自覚を持ち取り組んでいけるとうれしい。せっかく歳を重ねた人たちや、その人たちの経験がたくさんあるのに、どこか客観的な気がする。若い世代が上の人たちを頼れて、上の世代の人たちも、積極的に関わってくれる社会になってほしい。	1	行政
日本一、子どもを育てやすい県になって、どんどん若い人たちが青森で生活するのにUターンしていければいいなと思う。どんどん青森のアピール、よろしくお願いします。	1	行政
今春大学を出、現在働いていますが、23才という年齢だと仕事を覚えるのと結婚となるとやはり30才位だと感じる。今の時代共働きは当たり前なので、やはり出産した後が心配。保育所、幼稚園の充実、会社の方針、1つでもかけると育てる自信が遠のく。誰でも家庭を持ち、子を育てたい思いはあると思う。国・社会でも1番にこの事を考えて行って貰いたい。	1	行政
長期に渡る教員費補助。	1	行政
〇〇市は子育てをする環境が他の市町村に比べて悪い。ひとり親への行政の対応が冷遇すぎる。もっと子育てしやすい環境づくり、サービスを充実させるべき。ハコモノばかり使っていないで子育て支援をもっと強化してほしい。	1	行政



回答内容	件数	項目
今大人である私たちに向けても、考えを変えることは難しい。なので、これから大人になって親になるかもしれない子どもたちに対し、行政にしかできないアプローチで（講演・特別授業・冊子の配布など）、夫婦共同でする子育てのこれからの形を教えていって欲しい。	1	行政
市や地域でこういったサービスや優遇など受けれるか、情報がそもそもどこでもらえるのかもわからない。もっと明確な宣伝が欲しい。	1	行政
子供を育てたくなるような経済的な政策が必要だと思う。	1	行政
消費税の減税あるいは、維持。デフレが改善してから増税。年金制度廃止、必要な場合は生活保護。経済が上向けば、いずれまた出生率も上がる気がする。	1	行政
実効性のある対策を期待したい。	1	行政
わが市は他市町村に比べて出産及び結婚の年齢が若い印象を受ける。人口増を狙った出生率の向上よりも、安易な出産による経済的困窮者を減らすこと、生活基盤を整えさせることが先決であるように感じる。	1	行政
無記名とは言え、このようなアンケートを行政にされるとは思っていなかった。それぞれ色々な理由で結婚していないのだから。	3	調査票
どういった支援があるのか、わかりやすい説明で掲載されていけばいいのではないのでしょうか。	1	調査票
おもしろそうな調査なので、集計大変だと思いますが頑張ってください。結果が楽しみです。助産師をやっているの、県内の出生率があがればいいなと願います。	1	調査票
アンケートの項目にない回答が多く、とても苦勞しました。	1	調査票
アンケート自体、不備が目立ち解りにくいいため、内容を見直すべきだと思う。	1	調査票
今回のアンケート、親が代筆しました。障害者のためアンケートにお答え出来ません。	1	調査票
問15の選択項目はもう少し考えたほうが良いと思う。少し腑に落ちませんでした。	1	調査票
仕事で送るのが遅くなったのは申し訳ないのですが、まさかハガキで催促がくとは思わなかった。もし強制だったら大きくそのことを書いておいていただきたかった。またはゆっくり書けるようにもう少し時間をとるとか。	1	調査票
このアンケートの結果がどうなったのかを回答したからには知りたい。パートナーが居ない人や、探している方の事なので。今回のアンケートへ少しでも役に立ち、協力ができれば嬉しい。	1	調査票
問22、問23であった結婚するにあたっての利益、不利益は人によって感じ方、考え方が違うと思い、特に個人的に思うこともないので不利益に○をつけた。	1	調査票
今は猫がいれば十分。	1	その他
自分が仕事をし、経済的に自立することに力を注いできた。仕事において一人前になることを望まれ、自分でも努力したが、その結果体調を崩した。幸い復職はできたものの、治療は5年以上続けている。結婚や出産を望んでいましたが、出会いを求める行動や婚活によって、病気を悪化させるおそれもあり、行動に移せぬ。再発があれば、仕事の継続が難しくなる可能性があり、生活に影響してしまう。40歳を目前に、私の健康状態への理解を求められる結婚は（出産も難しい年令です）、厳しいと思っている。	1	その他
結婚する前に付き合ってる人達が長く付き合い、結婚してから、お金の事、人との関係に気を付けなければならないと思う。子育ては大変さに追われてしまいがちだが人との協力を心がけたいと思う。	1	その他
将来を支える子どもが必要であるのはわかるが、現在の自分がまだまだ不安定で不十分であるため、次の世代を考えるに至っていない。	1	その他
仕事が忙しくて何も考えられない。	1	その他
出会いのためのイベントや子育て支援があっても、本人が漠然と考えている状態では難しい。	1	その他
妊娠出産育児に関する手当・医療制度などに関する情報が記載されたパンフレットが欲しい。	1	その他

回答内容	件数	項目
私は低賃金の会社で働いている。欲しいものが多々あるし、将来孤独のままでは正直嫌でもあるが、自分の時間を今は大切にしたいので、女性とのお付き合いは考えていない。自分の欲しいものが手に入るまで、お金を他のことに使う気はない。	1	その他